



社会福祉法人敬寿会

前理事長・金澤敬一が、それからの世の中で、必ず必要となる介護、介助を何らかの形で貢献したいとの思いで創めたのが敬寿園です。創業者・金澤敬一の精神“まごころ”と“おもいやり”的心をいつまでも忘れずに、全職員が心をひとつにするのが願いです。30年、40年、100年続く“最高の施設”を目指します。

敬寿会の「法人供養碑」が
発祥の地 敬寿園に出来上
がり、除幕式を行いました

平成30年7月1日(日)、

附していただきました。供養碑ともども、いつまでも皆様と敬寿会を見守っていただけると思います。

し、禪の悟りの境地と言わ
れますが、見る人の心で、
自然や人生、様々な人に對
する思いなど、自由に感じ
ていただければと思いま
す。この供養碑の建立に當
たつては、敬寿園のご利用
者さまと、敬寿会の理事、
評議員の方々、敬寿会とお
付き合いのある関係企業の
方々から、多くの争材を奉

て行きたいと思います。緑
あつて敬寿会の施設をご利用
用いたいたの方々、日夜懇親
いてこられた職員、これま
で運営に協力いただいたセ
々など、すべての人に感謝
するという趣旨で建立いた
しました。法人の供養碑の
円相は空、風、火、地など
世界全体の究極の姿を表

供養碑の周辺の緑化や整備は、山形市のボランティア団体アグルーブの“自然と人間を学ぶ会”の方々に協力していただきました。お蔭さまで、大変美しい庭になりました。会長の佐藤清道様、会員の皆さん、ありがとうございました。

緑化・整備

素晴らしい作品が出来ました。

A group of approximately 15 people of diverse ages are gathered in front of a modern, light-colored building with large windows. In the foreground, there is a large, dark, cylindrical object, possibly a piece of equipment or a marker. The group is posed in two rows, with some individuals sitting on the ground in the front row. The setting appears to be an outdoor event or a guided tour.

A group of about ten people, mostly older adults, are gathered in a lush green garden. They are engaged in various activities, such as weeding, tending to plants, and carrying equipment. The garden is filled with dense foliage and several large, light-colored stones. In the background, there's a white building with dark-framed windows and a balcony. A large, dark tire is leaning against a tree trunk on the left side of the frame.

ボランティア風景

法人供養碑除幕式 当日の風景

